

次世代モビリティ等開発技術者育成事業 平成30年度いわきEVアカデミー 講師陣

講座名	講師名	講師紹介
次世代モビリティ概論	今関 隆志	日産自動車(株)において、車両操縦安定制御の研究開発、電気自動車、ハイブリッド自動車、燃料電池自動車の研究開発を担当。ポッシュ(株)開発センターにて、ハイブリッド自動車や電気自動車用の電動部品の量産開発を担当。また、いわて次世代モビリティプロジェクトにも参加し、長年にわたって、次世代自動車の開発に携わってきた。現在、東京農工大学スマートモビリティ研究センター研究員。
モーター基礎 / モビリティのモーター設計	小原 三四郎	盛岡市出身、(株)日立製作所 日立研究所に入室、電動機応用研究室に配属、プラシレス化で誘導電動機の可変速制御の研究に従事。'92年現日立オートモティブシステムズ(株)に転属。電気自動車EV,HEVを日産との共同開発に参画。日立退職後、日興電機工業(株)で築地市場ターレのモータコントローラを設計製作。現在、電気系技術コンサルタントとして主に中小企業支援中。
蓄電技術の基礎と応用	阿部 英俊	いわき市出身。株式会社A B R I (エブリー) 代表取締役社長。古河電池株式会社にて、各種二次電池の材料および基礎研究を担当。2010開発第二部長、2011開発部長、2015研究部長としてリチウムイオン電池、マグネシウム空気電池、および次世代電池の研究開発に従事。IECエキスパート (SC21A, WG4 & WG5) 。2017.4に公立大学法人首都大学東京と古河電池株式会社のジョイントベンチャーである株式会社A B R I (Advanced Battery Research Institute) を設立。博士 (工学) 。
モビリティの設計概論	小谷 修一	1963年より日産自動車(株)において初代ローレル、セドリック、マーチ等の車両設計に長年携わる。飛行機や船舶にも精通しておられ、滋賀で毎年開催される鳥人間コンテストの審査委員を担当する。(株)モディー社の前所長として車両設計業務等指導を行った。現在は岩手大学客員教授として指導を行っている。
モビリティの走行性能設計	佐藤 清忠	一関高専特命教授 (EV担当)、盛岡広域振興局IT連携コーディネーター。専門は電子回路、画像情報処理である。専門技術の教材の開発普及にも取り組み、主に表計算を使って「見える化教材」を開発してきた。この教材は理論や要素機能と全体の動きを関係付けるもので「システム思考」と呼んでいる。EVの教材開発では、一貫してその手法で取り組んできた。
Kit Car分解・組立実習	モディーより派遣	(株)モディー デザイングループ所属。大手自動車メーカー等のコンセプトカー製作や、ベンチャー企業のスモールモビリティ製作に携わり、デザインのみならず設計やCAD、製作まで、手を動かしたのづくりを行う。それらの経験を活かし、一関工業高等専門学校と共同で、自社開発した電動車両(PIUS)を扱った教材開発に参画。主にPIUSの分解/組立実習に使用する手順書の作成を担当。
	菊地 重人	一関工業高等専門学校 地域共同テクノセンター 特命教授 (EVプログラム担当) 一関工業高等専門学校 EVプログラム開発担当として、次世代モビリティ開発技術者の育成を目的とした、教材開発とカリキュラムの構築を5年かけ、一関高専の教授陣と共に構築しています。(EVプログラムは文科省採択事業「いわて環境と人にやさしい」次世代モビリティ開発拠点プロジェクト」の中のひとつです)
	ELEVIX	
モーターコントローラ実習 / コンバージョンキット体験	ELEVIX	岩手大学と岩手県立大学の二大学連携組織。学生によるベンチャーカンパニー。彼らの活動は企業と連携して、「ものづくり」に携わる開発設計やソフトウェアの開発、市場調査を行います。企業技術者向けEV SchoolやEV High School (高校生向け電気自動車講座) の開催等を通して「就業体験」も含めた地域コミュニティの活性化と人材育成に取り組んでいます。地域が求める地産地消型のモビリティとした「EV」の開発を目標に「くる街プロジェクト」を推進しています。